

乙川リバーフロント地区のまちづくり

全国のまちづくりモデルとして評価！第11回まち交大賞
「まちづくりシナリオ賞」を受賞しました

まちづくりシナリオ賞表彰式

平成28年7月5日

乙川リバーフロント地区のまちづくりが、「テーマの設定」「まちづくりのアイデア」「計画策定のプロセス」の3つの観点において全国的に優秀な地区であると評価され、まち交大賞審査委員会より「まちづくりシナリオ賞」を受賞した。



まちづくりデザイン(3つのまちづくりの連携と推進)



◀ 乙川デザインシャレット(左)

県内外の大学生28名がチームを組み、市民や行政、専門家の意見を参考にしながら、まちづくりの提言をまとめて市役所等で展示した。

おとがわプロジェクトグランドデザインフォーラム(右)

まちづくりの専門家と市長が今後のまちのビジョンについて公開討論した。他にも市民ワークショップ等も開催し、市民とまちづくりの議論を重ねてきた。

■ 歴史まちづくり

歴史的建造物を中心に地区の整備を進め、良好な歴史的風致を維持・向上させ後世に継承する

■ かわまちづくり

河川占用に関する特例により、乙川河川敷で民間の営業活動を展開し、まちの活性化につなげる

■ リノベーションまちづくり

民間主導で補助金を使わずに遊休不動産を活用し、まちの中に新たな産業と雇用を生み出し、エリア全体の価値を高める



▲ まちづくりワーキンググループ

3日間で、のべ300名を超える市民が参加し、専門家とともにまちの課題解決プランをまとめ、市長へ提案発表をした。



公民連携の持続可能なまちづくり

◀ (仮称)岡崎セントラルアベニュー

乙川リバーフロント地区の南北の軸線である、(仮称)乙川人道橋、中央緑道、籠田公園という総延長600メートルの連続した公共空間「岡崎セントラルアベニュー」において、民間主体の利活用とにぎわい創出を目指して再整備(リノベーション)。維持管理も含めて民間事業者が主体的な役割を担う「公民連携」の仕組みづくりに取り組む。

エリアの魅力と価値を向上させる公共空間の利活用とリノベーション



◀ 乙川プロムナード(乙川堤防道路)(左)

来街者が安心して楽しくまち歩きができるよう、歩行者空間の再整備(リノベーション)を進めている。

殿橋・明代橋のライトアップ(右)

夜間景観の形成や岡崎の更なる魅力向上のため、乙川に架かる殿橋・明代橋において、動きのあるライトアップを行っている。